

神余地区尾根コースイラストマップ

【加藤エリア】

加藤エリアには、山間を流れる小川があり、夏頃にはゲンジボタルがあわい光をはなちながら飛びかいます。水田は棚田状になっていて、自然の豊かさを感じさせてくれる場所です。



【神余城跡】

平安時代の終わり頃から室町時代までいた豪族神余氏の本拠。神余小学校が神余氏の居館跡と言われています。
「房総里見軍記」等によれば、嘉吉元年(1441)頃、安房には神余氏・東条氏・安西氏・丸氏の四氏が分立していました。神余光孝(景貞)は家臣の山下作左衛門景胤(定兼)の謀反により殺害され、その領地を横領し山下郡と改めました。これに怒った安西氏、丸氏が神余城を攻め、山下氏を攻め滅ぼしたと言われています。

【日吉神社】

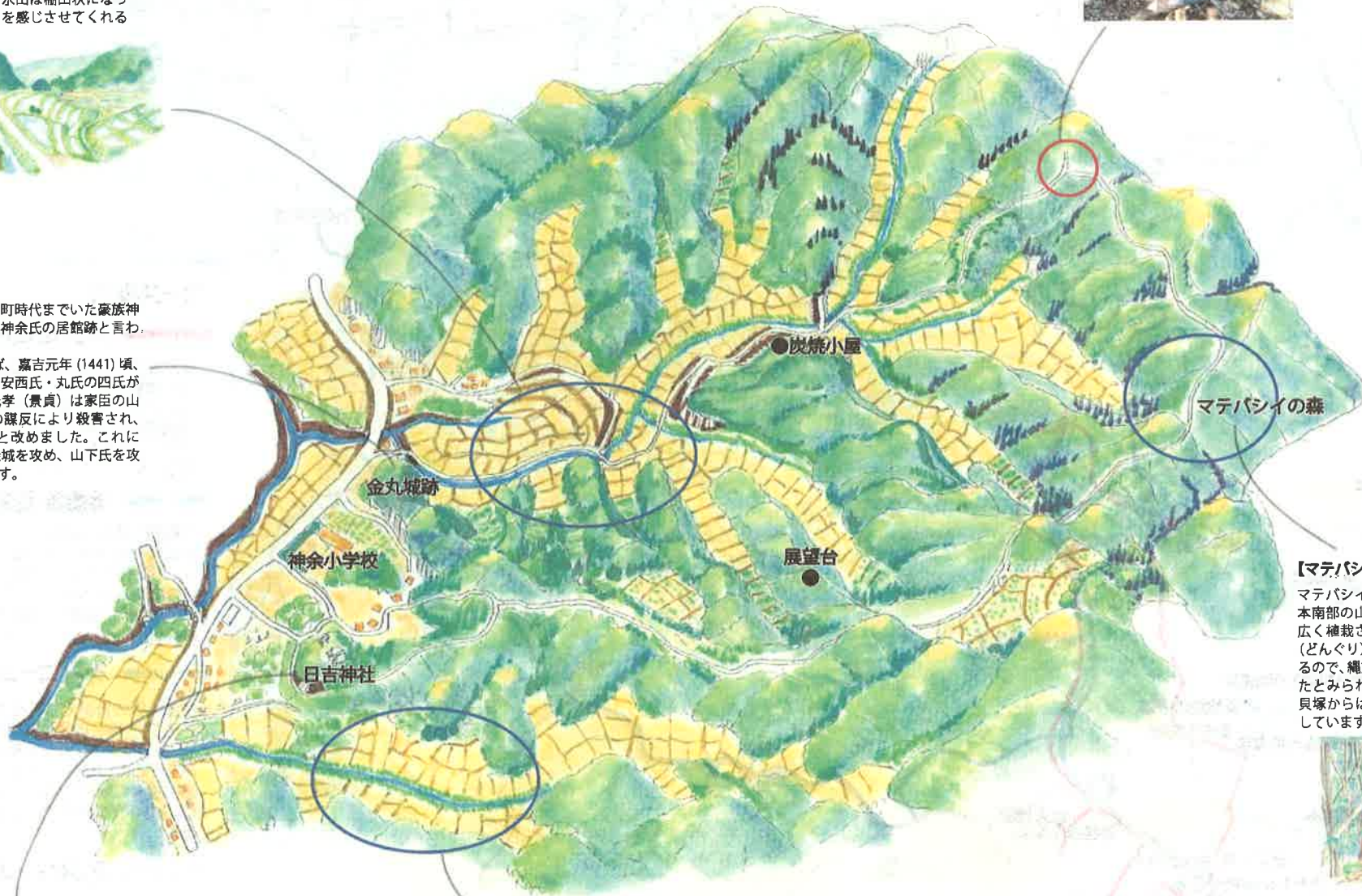
神余地域の鎮守。祭神は、大山咋命。延暦23年(804)、神余に居城を構えた金丸氏により農工商の守護を祈念して創建されました。7月19日・20日の例祭で館山市無形文化財の「かっこ舞」が奉納されます。「かっこ舞」は、頭に獅子をかぶり、腹につけた太鼓(かっこ)を打ち鳴らしながら踊り、雨乞いと五穀豊穡を祈願する神事です。



【分岐点】



尾根コースと林道コースの分岐点。林道コースを回ればさらに多様な自然を味わえます。



マテバシイの森

【マテバシイの森】

マテバシイは、ブナ科の常緑高木。日本南部の山野に自生し、公園などにも広く植栽されるブナ科の常緑樹。果実(どんぐり)はあく抜きせずに食べられるので、縄文時代人の貴重な食糧であったとみられ、千葉県加茂の縄文前期の貝塚からは、歯型のついた果実が出土しています。



【平田エリア】

谷津に広がる棚田などの豊かな自然。昔懐かしい田園風景を味わえます。

